

**第71回大分県畜産共進会  
審査報告書**

**社団法人 大分県畜産協会**

## 第71回大分県畜産共進会 (肉牛の部 審査講評)

第71回大分県畜産共進会、肉牛の部が皆様のご協力により無事終了し、ここに審査の結果をご報告できますことを、審査委員を代表して心からお礼を申し上げます。

また、本共進会にあたり、ご出品頂いた生産者の皆様には平素からの飼養管理に対し、心から敬意を表します。

今回の出品頭数は、黒毛和種去勢牛40頭、交雑種去勢牛10頭の計50頭でありましたが、枝肉重量不足のため、黒毛和種1頭・交雑種2頭の計3頭が審査対象外となり、計47頭でありました。

枝肉の審査につきましては、(社)日本食肉格付協会の牛枝肉取引規格を基準として行いました。

まず、黒毛和種去勢牛であります。出品牛の月齢は27.3ヶ月～29.8ヶ月で、平均28.9ヶ月と昨年とほぼ同様でした。

種雄牛別では寿恵福が15頭、隆茂38.10頭、藤平茂8頭、糸藤2頭、八重福栄2頭、その他2頭となっております。

枝肉重量では最大587.3Kg、最小443.7Kgで平均503.1Kgと昨年と比較し枝肉重量は14.8Kg増加いたしました。

次に枝肉の格付け状況ですが、歩留等級につきましては、A等級26頭(66.7%)、B等級以下13頭(33.3%)でした。肉質等級では、5等級11頭(28.2%)、4等級22頭(56.4%)、3等級以下6頭(15.4%)で4・5率は84.6%でした。

肉質につきましては、脂肪交雑(BMS No)が、11～4で、平均6.6、ロース芯面積は最大78cm<sup>2</sup>、最小42cm<sup>2</sup>、平均55.9cm<sup>2</sup>、皮下脂肪の厚さは、最大4.9cm、最小1.4cm、平均3.1cmでありました。

これらの成績は、昨年と比べ、4・5率、ロース芯面積、BMS Noは向上しましたが、皮下脂肪は前年と同様に厚く、B等級が増加しており、今後の課題と思われれます。

次に、2区の交雑種去勢牛10頭の結果ですが、出品月齢は22.8～29.8ヶ月齢で平均27.0ヶ月と、昨年と比べて0.5ヶ月長くなっていました。

枝肉重量は496.5Kgで前回に比べ小さくなっています。

格付け状況ですが、歩留等級につきましてはB等級7頭、C等級1頭となっております。肉質等級では、3等級5頭、2等級3頭でした。

前年に比べ、BMS No及び3等級以上の割合は向上したものの、枝肉重量は低下しておりますので、今後とも引き続き一層の飼養管理技術の向上に努めていただきたいと思えます。

最後になりますが、次回の共進会、さらには、平成24年10月に長崎県で開催されます第10回全国和牛能力共進会に向け、より一層のご研鑽をお願いし、審査講評といたします。